※令和４年度以降入学生用

学校番号	203

令和８年度　芸術科

教科	美術	科目	造形演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	自主教材						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

造形演習の授業では、感性や美意識、想像力を働かせ、対象や事象を造形的な視点で捉え、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成します。
特に、素材についての理解や、工芸品についての歴史やものづくりについて身近な生活の視点に立った発想や構想を、作品づくりを通して学んでいきます。社会的な視点に立った発想や構想ができるようになることが目標です。

2　学習の到達目標

・造形的な視点にたち、素材について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
・造形的な良さや美しさ、表現の意図や創意工夫などについて考え、新たな視点や気付きをもって創造的に発想・構想し、価値意識をもって造形文化に対する見方や感じ方を深めることができる。他者の作品を認め相互理解を図ることで、自作品の客観的視点を養うことができる。
・主体的に造形の創造活動に取り組み、生涯にわたり造形を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、造形文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどのついて考え、心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術文化や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	主体的に美術工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

4　学習の活動

学	単	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	石の張り子	目の前の石そっくりの張り子を制作する。石の着色デッサンを行うことで石の質感や形状・色の変化を確認することができる。 石を型にし、周りに紙を洗濯のりで張り付ける。型から取り出した張り子を水彩絵の具で着色する。 [鑑賞] ・作品の制作意図について発表し、良さについて確認しあう。	a: スケッチから石の細かい色の変化や質感を見ることがでる。 張り子制作の手順を理解し、型である石から取り外せるよう作業を進めることができる。 b:型から取り外した張り子に着色する。本物の石の色や質感を水彩絵の具で混色しながら筆を効果的に使い表現する。 c:スケッチから石の細かい色の変化や質感を見ることができ、表現に結びつけることができたか。鑑賞や振り返りシートで主体性を持って取り組むことができる。	作品 ワークシート	作品 ワークシート 振り返りシート	作品 取り組み状況 振り返りシート
	段ボール貯金箱	・段ボール素材について理解し、加工方法を知り、「貯金箱」を制作する。 ・「貯金箱」の機能性を理解したうえで主題を生成し制作することができる。 ・梱包材として使用される段ボールだが、用途が済むと廃材となる。廃材を利用して作られるものについて「価値」とは何か考えることができる。 [鑑賞] ・作品の制作意図について発表し、良さについて確認しあう。	a:段ボール素材を加工する際の「切る」「剥がす」「曲げる」について理解することができる。 b:段ボールの素材を活かした「貯金箱」をデザインし、制作することができる。 「価値」について考えることが出でき、廃材＝段ボールを形あるものに作ることができる。 c: 自身の考えたアイデアを通し制作することができ、効果的に表現できるよう粘り強く課題に取り組もうとしている。 鑑賞や振り返りシートで主体性を持って取り組むことができる。	作品 ワークシート	作品 ワークシート 振り返りシート	作品 取り組み状況 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

２学期	牛革モビール	・牛革で作られる工芸品や商品について調べ、歴史や加工方法について知る。 ・牛革の端切れを使ってモビール制作を行う。モビールとは彫刻のことで、もののバランスをうまく捉えながら作品を制作する。 ・モビール作品の主題を生成し、牛革の素材を活かした作品を制作することができる。 [鑑賞] ・作品の制作意図について発表し、良さについて確認しあう。	a:牛革素材について加工方法を知り、制作につなげることができる。 b:モビールを制作する中で、バランスを取りながら各自のテーマに沿った作品を制作することができる。 c:自身の考えたアイデアを通して計画立て、効果的に表現できるよう粘り強く課題に取り組もうとしている。 鑑賞や振り返りシートで主体性を持って取り組むことができる。	作品 ワークシート 試作作品	作品 ワークシート 試作作品	作品 取り組み状況 ワークシート 試作作品
	ポップアップカード	・ポップアップカードの特性を知り誰に、何のために贈るカードなのかについて考え、色画用紙等を使ってカードを作成することができる。 ・カードを贈る対象やメッセージからデザインや配色を考えアイデアスケッチや展開図を作成することができる。 [鑑賞] ・作品の意図について発表し、良さについて確認しあう。	a:ポップアップカードの飛び出す仕組みについて知ることができ、制作することができる。 b:飛び出す仕組みを活かし、自身が考えたコンセプトに照らし合わせ、デザインと仕掛けを考えることができる。 c:自身の考えたアイデアを通して配色計画をし、効果的に表現できるよう粘り強く課題に取り組もうとしている。 鑑賞や振り返りシートで主体性を持って取り組むことができる。	作品 ワークシート 試作作品	作品 ワークシート 試作作品	作品 取り組み状況 ワークシート 試作作品

※令和４年度以降入学生用

3学期	コンテナを活かした空間デザイン	[デザイン] ・貨物輸送用コンテナを用いた建築模型の制作をおこなう ・建築施設のデザインに興味を持ち、条件に従って施設の用途と、訪れた人が利用しやすく、快適過ごせる建築を追求する。	a：（知識・技能） 自身の身の回りを見つめ、問題解決に結びつくような構想を膨らませ主題を生成することができる。 デザインのコンセプトを具現化するための方法を論理的に構築することができる。 b:　（発想や構想） 意図に応じてスチレンボード材料や用具の特性を活かし、表現方法を工夫して主題を追求して表現している。 （鑑賞） 他の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り、表現への理解を深めることができている。 c:（表現）身の回りの建築物に興味関心を持ち、自分の思いなどを形にした模型を作ることで、他者に伝える発表活動に取り組もうとしている。	作品 ワークシート 試作作品	作品 ワークシート 試作作品	作品 取り組み状況 ワークシート 試作作品

※ 表中の観点について a:知識･技能 b:思考･判断･表現 c:主体的に学習に取り組む態度